



第7回 「木山地区まちづくり協議会」

昨年12月より「木山地区まちづくり協議会」が活動を開始し、現在、月2回定例会議を開催しています。

木山地区には、宮園・木山上町・蛭子町・市ノ後地区の4つのまちづくり協議会があり、「木山地区全体のまちづくりを考えたい」という協議会の発案で設立されました。

各協議会の会長・役員と、木山下町のまちづくり協議会準備会、寺迫地区、市ノ後団地地区の区長などや、商工会の代表が参加しています。

現在、木山地区では区画整理事業が予定されています。



定例会議の様子



熱く交わされる議論

細かく行政区が分かれている木山地区では、同事業による道路整備などを検討する際は行政区同士での調整が必要です。

そこで、各まちづくり協議会、各地区で話し合った内容を持ち寄り、木山地区全体の提案として検討しています。

また、「まちづくり＝区画整理」ではないという思いから、区画整理事業だけではなく、木山のにぎわいや歴史などについても話し合いを行い、「木山地区の未来」について、毎回熱い議論が交わされています。

回復興整備課まちづくり推進室 ☎ 289 - 2930

振り返る 復旧・復興

学校給食センター

被害状況と 今後の見通し

完全に不能となりました。

早期復旧に向けて

移転・建設地を決定

給食センターの早期復旧を目指し、同委員会で建設・移転地について検討を重ねた結果、震災の教訓を生かすべく、見学施設や防災機能を備えた建物を井関熊本製造所東側へ建設することを町に提言しました。

今年度中の工事完了を目指す

2月に用地造成工事、5月には建物建築工事に着手し、今年度中の工事完了を目指します。

園学校教育課学校教育係

☎ 286・3307

学校給食センター

☎ 286・8535

被害が大きく機能不全に

老朽化に伴い、建て替えに向けて平成27年度から「学校給食センター建設検討委員会」を立ち上げ、今後の方針を検討していた学校給食センターでしたが、震度7の前・本震と度重なる余震に壊滅的な被害を受け、給食の提供は

老朽化に伴い、

建て替えに向けて

平成27年度から

「学校給食セン

ター建設検討委員

会」を立ち上げ、

今後の方針を検討

していた学校給食

センターでしたが、

震度7の前・本震

と度重なる余震に

壊滅的な被害を受

け、給食の提供は



新しい学校給食センターの完成予定図

